

被災地との絆を次代に引き継ぎ、 大会を通じて世界の人々に感謝を伝えます

- 東京2020大会の招致活動は2011年に始まり、その中で、スポーツの力が東日本大震災の被災地に夢と希望をもたらすことを訴えました。
- オリンピック・パラリンピックは、世界のトップアスリートたちの力の限りを尽くした競演など、大会がもたらす感動を通じて人々の心を明るくし、困難に打ち勝つ勇気を与えてくれます。
- 被災地の復興なくして大会の成功はありません。東日本大震災から10年目となる東京2020大会に向け、スポーツの力で被災地に元気を届け、様々な困難を乗り越え力強く復興へ歩む姿を世界に発信していきます。
- そして、大会を通じて被災地の人々に大きな感動を届けるとともに、被災地との心の絆を次代に引き継いでいきます。

2020年に向けた取組の方向性

1 スポーツの力で被災地に元気を届け、復興へ歩む姿を世界に発信します

被災地と東京を結ぶ1000km縦断リレーやアスリート派遣など、スポーツによる交流を通じて被災地に元気を届けるとともに、復興に向かう被災地の姿を様々な機会をとらえ世界に発信していきます

主な取組

- ・1000km縦断リレーを通じた被災地との絆の強化
- ・事前キャンプ誘致に関する情報提供と都内事前キャンプ候補地との共同PRの実施
- ・リオデジャネイロ大会終了後のフラッグツアーを被災地でも実施
- ・力強く復興へ歩む被災地の姿を映像に記録し、世界に発信

2 早期復興に向けて被災地を支援します

1日も早い復興の実現に向け、インフラ整備など復興事業が高水準で実施されることが見込まれる中、職員派遣を継続して被災地を支援していきます。また、風評被害の払拭や震災の記憶を風化させないための取組を行うとともに、被災地との交流事業の充実を図っていきます

主な取組

- ・都内各地で「ふくしま⇄東京キャンペーン」を展開し、特産品や観光をPR
- ・アートプログラムによる文化を通じた被災地との交流や「東京キャラバン*」の展開



芸術文化を活用した被災地支援事業（福島県）

1 スポーツの力で被災地に元気を届け、復興へ歩む姿を世界に発信



未来(あした)への道
1000km縦断リレー

スポーツによる
被災地支援事業

被災地を
元気づけ
復興を後押し



アスリート派遣事業

復興の軌跡を
世界へ発信



継続的な映像の記録(イメージ)

2020年に向けた取組の概要

○ スポーツの力で被災地に元気を届ける

■ 子供や高齢者の体力低下防止や心のケアのために、スポーツ招待交流事業やスポーツ観戦招待事業、東京マラソン10kmコース招待事業、アスリート派遣事業を引き続き実施する。さらに、今後、障害者スポーツを通じた交流にもつなげていく。

■ 未来(あした)への道1000km縦断リレーを通じて、震災の記憶を風化させないようにするとともに、被災地との絆をさらに強くする。今後、世界的な著名人や外国人ランナーの参加を促すなど、発信力を強化していく。

■ 大会の興奮と感動を届けるため、被災県において大型スクリーンでの競技観戦や各種イベントを実施するライブサイトを設置する。

■ 被災自治体に事前キャンプ誘致に関する情報等を提供するとともに、都内の事前キャンプ候補地との共同PRを実施し、事前キャンプ誘致を支援していく。

○ 復興へ歩む姿を世界に発信

■ メダリストと被災地の子供たちとの交流など、力強く復興へ歩む被災地の姿を継続的に映像に記録し、リオデジャネイロ大会をはじめとする国際スポーツ大会など、様々な機会を通じて世界に発信していく。

■ リオデジャネイロ大会終了後のフラッグツアーを被災地でも実施し、被災地の復興を後押しするとともに世界に発信していく。

2 早期復興に向けて被災地を支援

2020年に向けた取組の概要

○被災地の復興を支援

■ 今後も、インフラ整備などの復興事業が高水準で実施されることが見込まれる中、被災県への職員派遣を継続し、復興を支援していく。

○風評・風化対策

■ 都内各地で福島県産品の販売と観光PRを行う「ふくしま⇄東京キャンペーン」を展開するほか、生鮮食料品を扱う卸売市場関係者等を対象とした研修会を被災地で実施するなど、風評対策を継続する。

■ 被災地の語り部が、都民に震災体験を語り継ぐイベント等を実施し、震災の記憶を風化させないようにする。

○被災地との交流

■ これまで培った被災地とのつながり、チャネルを活用し、NPO等と連携したアートプログラムなど被災者の参加交流型イベントや、「東京キャラバン」を展開する。

■ 東京都が推進するオリンピック・パラリンピック教育において、被災地と連携した取組を進める。



住まいの復興状況：建設が進む災害公営住宅